2023ストックホルム青少年水大賞

今年の受賞国及び日本代表の研究についての研究タイトルと概要を簡単に訳して紹介しています。詳しい内容や、各国のスピーチは左側の写真よりリンクしておりますので是非ご覧ください。

👑大賞：アメリカ合衆国

Concurrent Removal of Rising, Soluble Ocean Carbon Dioxide and Oil-in-Water Contaminants via Multi-Functional Remediation Framework

和訳：多機能修復フレームワークによる海水溶解二酸化炭素の増加と流出原油の除去

概要
海洋ゴミとして収集した発泡スチロールを再利用し、炭素汚染物質を除去する多機能修復フレームワーク（MF-RF）の構築を行いました。
その中で、海洋炭素の除去と可溶性水中油型汚染物質の同時除去に取り組んでいます。

※研究結果や詳細については、論文題名より受賞国のページへリンクしていますので是非ご覧下さい。

優秀賞：トルコ

A Novel Magnetic System with Carbon Nanotubes to Remove Microplastics from Water

和訳：カーボンナノチューブを用いた新規磁気システムによる水中マイクロプラスチックの除去

概要
マイクロプラスチック汚染に関する研究を行い、磁性ナノ吸着剤を生成し、強力な磁石の力を使用して水からマイクロプラスチックを除去していくことを目的としています。

※研究結果や詳細については、論文題名より受賞国のページへリンクしていますので是非ご覧下さい。

ピープルズチョイスアワード：メキシコ

Shrimply the best: Understanding the interaction between shrimp production and water resources based on a source-to-sea approach

和訳：エビって最高：エビ生産と内陸水から海水までを包括的に捉えた水資源との関係

概要
水産養殖活動を通じて引き起こされる海洋水の消費や水質汚染に関してバイオフロック技術の利用を通した、水消費及び水質汚染の抑制と海洋生態系の保護を目的として研究に取り組んでいます。

※研究結果や詳細については、論文題名より受賞国のページへリンクしていますので是非ご覧下さい。

ピープルズチョイスアワードとは？
　インターネット上で、誰もが各国の研究論文や動画をみて投票してもらい、その投票数が最も多い研究に対して与えられる賞となります。

日本代表の研究

Amazing purifier: ~Let’s collect mangrove’s fallen leaves for eco-friendly bioremediation of heavy metals~

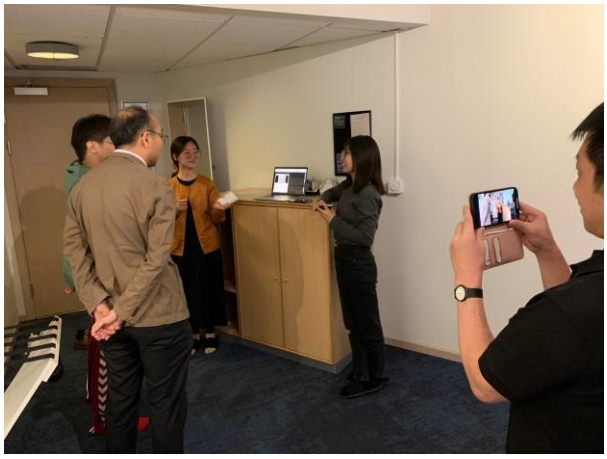
和訳：すごい浄化装置 ～マングローブの落ち葉を集めて環境に優しい重金属バイオレメディエーションをしよう～

概要
マングローブ種の落ち葉には水中の重金属を吸収して、水質を改善する要素を持っていることが研究を通してわかりました。この効果を利用して廃水処理や汚染された水質の改善を目的として研究に取り組んでいます。
※研究結果や詳細については、写真より受賞国のページへリンクしていますので是非ご覧下さい。

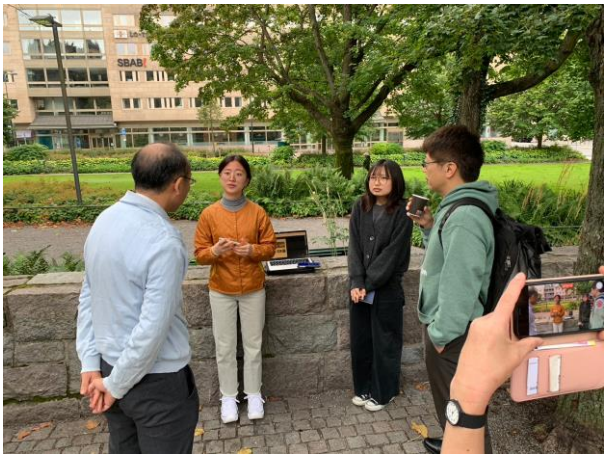
受賞国や日本代表の他にも、素晴らしい研究を各国の代表が行っていますので、ぜひＳＪＷＰのサイトよりご覧ください。
https://siwi.org/stockholm-junior-water-prize/sjwp-projects?iproject=stockholm-junior-water-prize

写真からみるストックホルム青少年水大賞の様子

ヴィクトリア皇太子と各国のファイナリスト（Photo：SIWI提供）



現地ホテルでの発表練習の様子



ホテル隣接する公園での練習

日本代表２名の発表時の様子

授賞式後の晩餐会での記念撮影（Photo：SIWI提供）

大賞を受賞したアメリカ代表との交流

ピープルチョイス賞を受賞したメキシコ代表との交流

日本大使館表敬訪問　（Photo：大使館提供）